

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフルームに理念を掲示し、いつでも確認できるようにしている。理念を実践に繋がられるよう研修の実施や話し合いを行なっている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	公民館の文化祭へ作品を出展したり、事業所のホールでイベントを開催し地域の方にも参加して頂いている。運営推進会議では事業所の取組を説明している。	ホールを活用したイベントをもっと開催できればいいと思う。畑があって、今年は畑の専門家の方をお呼びしてアドバイスをもらった事も交流になったと思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議は二ヶ月に一度参集して行い、頂いた意見に関しては、法人の会議やユニットの会議で話し合い、次回の運営推進会議で報告している。	運営推進会議ではとても丁寧に説明してくれていると思う。専門用語等分からない事も注釈を入れたり、資料に分かりやすく載せてくれているのは助かっている。		
4	市町村との連携	市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に町内会長、民生委員、市役所職員、高齢者支援センターの方が参加しており、行事の際には地域の方に協力して頂いている。	高齢者支援センターと協力し、地域を巻き込んだイベントや少人数規模な介護予防教室が出来ればいいと思う。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束についての研修の実施や、身体拘束に当たる支援をしていないかユニットで話し合っている。ベッドセンサー使用時には、家族に説明し同意を得てから使用している。また、継続して使用する必要があるかどうか定期的な話し合っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防犯や熊の侵入を防ぐため、特に夜間の門の戸締りはした方が良い。利用者が自由に入出入りできないよう各居室の施錠はしてはいいけないが、玄関はそこまで厳しく見ていないとのご意見を頂いた。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止検討委員会を設置し、研修にて高齢者虐待防止法等について学んでいる。利用者を尊重した声かけが出来よう月目標に組み込み、取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者と楽しく過ごしてほしいと思っている。家族と思って接すれば良いのではないかな。あまり言葉を選んでもかしまってしまう。強い言葉でビシッと言わなければならない時もある。特に命に関わる時。場面、場面で切り替えていいと思うとのご意見を頂いた。

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修にて日常生活自立支援事業や成年後見制度について学んでおり、必要時にはケース会議などで話し合いができる様にしている。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は家族からの心配事を伺い、十分に理解して頂けるよう説明している。改定時にも理解が得られるよう説明し、文書で同意を得ている。			
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に家族の方も参加して頂き、意見を話せる機会を設けている。参加できない家族についても、来訪時やケアプラン更新時に利用者の状況を報告し、心配事がないか聞いている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営に関してはまだ分からない面が多いとのこと意見を頂き、引続き、運営推進会議を通じて分かりやすい資料作りや説明を心掛けていくこととした。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフ会議や面談を通して意見等を聞く機会を設けている。業務の流れについて話し合う事もあり、業務がスムーズに行えるよう改善に努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人面談で目標の設定や研修の計画をたて、やりがいをもって働けるように努めている。資格取得は支援制度の活用を行なっている。状況に寄ってシフトや業務の調整をし、働きやすい環境を整えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護職の資格取得について会社が支援している事がわかった。職員の不足も無いとの事だが、外国人の介護人材の交流会を計画しているのでは是非参加してほしいとのこと意見を頂いた。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内研修は全員が参加しやすいよう、動画視聴で行ったりユニットごとに行ったり、段階別に行なったりと工夫している。外部研修は案内し、本人の希望に応じ受講しており、オンラインの研修など参加の機会が増えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理職やケアマネで業務が違う所もあるが、職員全員が利用者と関わっているという事をご理解いただけた。
13	同業者との交流を通じた 向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止の為、訪問等で交流する機会はまだまだないが、外部研修に参加し同業者と交流することがある。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のできることや得意な事を活かせるよう本人の状況を把握し、掃除や食事作り、作品制作等、お互いに助け合いながら生活できるよう努めている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会や電話などで馴染みの人との関係を継続できるようにしている。また、希望を聞いて以前住んでいた地域やよく行っていた場所にドライブに出かけるようにしている。	面会しに行き辛いという感じる事も無く、いつも快く迎えてくれてありがたいと思う。ドライブに出掛けるという事も、とても気を使う事だと思うが、頑張っている事が分かった。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の会話から本人の思いをくみ取るように努め、部屋の環境や一日の過ごし方などは必要に応じて家族から情報収集を行っている。得た情報は記録に残し、全員で把握できるようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人からの話や家族からの話、スタッフの気づき等は記録に残し、必要に応じてミーティングや会議で話しあっている。また、医療に関しては看護師や医師に相談し、介護計画を作成している。	介護用品を用意してもらう際に家族へ相談し必要性を説明しているというのは、家族も納得できるしとても丁寧に行っていると感じた。少人数での生活なので、職員の気づきも多くあるなど感じた。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の必要物品についても本人や家族の要望に合わせて用意している事をご理解いただいた。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の言葉や気付いた事、実践した事、結果などは随時記録に残し、回覧することで職員全員が把握できるようにし、計画の見直しに活かしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の口頭での申し送りに加えて、記録を回覧する事で職員全員が情報を理解し把握できるようにしている事を理解して頂けた。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の要望に合わせ訪問医療や介護ケア用品の発注を行っている。外出が困難な場合であっても楽しめるよう、移動販売車で買い物や訪問理容を定期的に利用している。	移動販売車が来たりスタッフが買ってきてくれたりして、おやつなど好きな物を食べられるというのは良いと思った。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の美容院に出かけたり、地域の町内会長に協力してもらい、事業所の行事や避難訓練に参加して頂いている。	昨年度から新たに実施したことが無かった。地域の資源とはどんなものがあるのか、把握したり発掘する事が今後の課題になる。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の協力を得ながら、在宅時からのかかりつけ医を受診できるよう支援している。また往診にも来ていただいており、受診結果は電話やたよりで伝えている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族から話を聞いたり、医療連携室と情報交換できるように努めている。退院する際には家族の希望や病院からの注意点等を確認し、家族が安心できるように良く話し合っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院してから一か月の間であれば戻って来られるという事。入退院時には、対象利用者様の食事の状況、歩行状況、排泄状況、お薬情報等の情報交換を医療機関と行なっている事を理解して頂けた。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	契約時に終末期の在り方について説明、確認し、確認書を記入して頂いている。年に一度ターミナルケアについての研修を行い、スタッフはターミナルケアについて学び、必要に応じて話し合うことが出来ている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ホームで最期を迎える本人や家族だけではなく、仲の良かった利用者についても寄り添ってケアしているという事を理解して頂けた。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	緊急時の対応マニュアルがあり、緊急時の対応についての研修を行っている。救命講習等の実践的な訓練は行っていない。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一年に一度、消防参加の避難訓練をし、その他に、日中、夜間を想定しての自主避難訓練をしている。避難訓練には地域の町内会長や役員、利用者家族も参加している。地震や水害なども含めた BCP 研修も行っている。	災害はいつ来るか分からないし、定期的に訓練を行なう事は大事だと思う。BCPについても良くまとまっていると思った。定期的に見直しをして取り組んでいって欲しい。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	大きな地震があったが、食器棚に突っ張り棒を設置したり、利用者居室についても物が落ちないように対策したり、上から落下した場合に利用者に当たらないように、ベッドの位置を変えるなどの対策をすぐに行ったことを理解して頂けた。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	虐待防止検討委員会にてパーソン・センタード・ケア研修を行い、一人ひとりを尊重した適切なケアができるようシートを用いて日々のケアを振り返り、チームで話し合っている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	研修を取り入れて丁寧な対応をしている印象があるとのこと意見を頂いた。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者の生活習慣に合わせ、起床時間や就寝時間、休憩時間や入浴の時間、レクリエーションなど、利用者の希望に沿って支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者の出来る力に合わせて、食材切や米研ぎ、盛付け、下膳、食器洗い、拭き等スタッフと一緒にやっている。好みに合わせてメニューを作ったり、誕生日に希望を伺って作ったりしている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	掃除や料理など色々な事を一緒に行なっている事をご理解いただいた。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	嚥下、咀嚼能力に配慮しながら、適切な食事形態で提供し、摂取量を記録している。水分についてもおおよそ把握し、好みによって提供している。水分に制限のある方に関しても、医師の指示に沿って提供している。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの出来る力や理解に合わせ、声かけをし、できない部分は介助しながら毎食後に口腔ケアを行っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誘導が必要な方については、毎日の排泄間隔を記録し、パターンに沿って支援している。便秘予防のため乳製品を提供したり、水分の提供や野菜を多く使った食事を提供している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄の失敗が無いように声がけにも工夫し、なるべく利用者の自尊心が傷つかないように声がけを心掛けているを理解して頂けた。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴が楽しめる様、好みの湯温や浴槽に入る時間など、その人に合わせ支援している。また、仲の良い方同士で入浴したいとの希望にも添える様に調整している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室の温度や湿度の調整をし、快適に休めるようにしている。不眠の場合には日中に休息を取り入れ、毎日の起床時間と就寝時間を記録に残し、生活リズムが整うよう支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新たに処方されたり薬が変更されたりした際には、状態に変化がないか観察、記録に残し、医師や看護師、薬剤師に情報提供している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	沢山の薬が合っても丁寧に管理していると思うとのこと意見を頂いた。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の好きな事や出来る事、得意な事や希望に合わせてレクを行っている。その人の嗜好品に合わせ、おやつや飲み物などを購入し提供している。	その人の好きな物、嫌いな物を把握して提供しており、お酒を飲む方もいて、用意している事も分かった。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望に合わせ、散歩やドライブに出かけ、ドライブに行く際には希望を聞きながら行くようにしている。家族に協力してもらい自宅へ外泊したり、秋には日帰り旅行にも出かけている。	グループホームで暮らしていても、希望に沿って好きな時に外に出て季節を感じられるように支援していくことが望ましい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の力に応じて管理している。また、状態の変化に合わせ家族に報告し、管理に関して相談している。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話を所持している方もおり、自由にやり取りをしている。その他にも利用者からの希望に合わせ家族へ電話し、スタッフルームや居室でゆっくりと話して頂いている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	立ち上がりや歩行がしやすいよう、席の場所を工夫したり、回転椅子、固定椅子等を身体能力に合わせて使用している。利用者と一緒に季節の作品を作ったり、外出した際の写真をホールや居室に展示している。また、混乱を招かないよう、テレビ、CDなどの音量に配慮している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	環境整備がよく整っていて、心地よい空間になっていると思うとのことご意見を頂いた。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分の思いを伝えることができる様な支援を行ない、普段の会話から本人の思いをくみ取るように努め、意向に沿えるよう工夫している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の生活歴に合わせ、就寝時間や起床時間を促したり、家事や畑仕事などの習慣が続けられるよう支援している。小規模を利用している家族が利用日に会いに来たり、友人が面会に来ることもある。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の変化は記録に残してスタッフ全員が把握し、変化に応じて支援している。週一回の訪問看護で報告や相談をしたり、受診時に医師へ情報提供している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週一回、看護師が来てみてもらえる他にも、24時間対応してもらえるというのは安心感があると思ったとのことご意見を頂いた。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のペースや希望にあわせて、居室で過ごしたり、食席やソファで過ごしている。好きなテレビをかけたり音楽をかけたりしている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族に協力してもらいながら、自宅で使い慣れた寝具や家具、テレビやラジオを持ってきてもらったり、家族の写真や人形、置物などを飾っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分の好きな物や馴染みのある物が持ち込めるのは良い。このまま続けていって欲しいとのことご意見を頂いた。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族と一緒に出かけたり、外食したりしている。また、希望に沿ってドライブに出かけたり、初詣等に出かけている。	地域の文化祭に出かけた際には、町内会長にお会いしたりと地域の方との交流も出来たと思う。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のできることやわかることに合わせて家事のお手伝いしてもらったり、畑仕事やレクリエーションを行っている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気の合った利用者同士が過ごせるよう、関係性に気をつけながら席を配置し、会話や活動が楽しめるようにしている。自分でできる事に取り組んでもらう事で、自分の居場所や達成感を感じられるように支援している。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歌を歌うというのはとてもいい事だと思います。70 歳代から 90 歳代の利用者が皆さんと一緒に歌っているという事が分かり、このまま続けていって欲しいとのご意見を頂いた。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の美容院へ出かけたり、地域の方が音楽会やえんぶりを披露し、交流する機会が設けられている。	ボランティアを募ったり、お手伝いして欲しい事を気軽に発信してみるのも良いのではないかなと思う。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員との馴染みの関係を作り、日々の会話の中で笑顔が見られたり、心配事や自分の意見を言う事が出来るように努めている。	色々な利用者がいて希望もそれぞれだと思うが、一人一人に寄り添って考えてくれているのが分かった。利用者本人が安心して暮らしているというのはもちろん、家族としても助けられていると感じている。	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分が施設にお世話にならないかなければならない時が来るかもしれないと言う気持ちで聞いていました。周りの人達から良く見守られ、楽しく過ごし、居心地が良いのではないかと思いますとのご意見を頂いた。

(参考様式4)

事業所名 グループホーム大地

目標達成計画

作成日: 令和 8 年 3 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47	レクリエーション活動がテレビで動画を流すだけになっている事が多く、職員と利用者の交流や利用者同志の交流が少なくなっている。	テレビを見てゆっくりする時間と、交流をしながら活動する時間をつくり、メリハリのある生活サイクルを作る。	①午前中は利用者の好みに合わせたテレビや動画を見てゆっくりと過ごしてもらう。 ②昼食後から15時の間は、職員と利用者でレクリエーションやドライブ、散歩などの活動を行なう。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。